

S-VIP Suwa Virtual Industrial Park

諏訪バーチャル工業団地

HOME	S-VIPの理念
ドラゴンバレー構想	価値づくり発表会

様々なプロジェクトや、技術開発や、製品が生まれています！
 諏訪バーチャル工業団地がお手伝いをしています！

WALK MATE プロジェクト



三社が共同で高齢者向けに歩行介助装置を開発

東京工業大学の三宅美博助教授が開発した歩行介助装置の実用として、岡谷市の創業支援センターに入居するスマートセンサーテ（長野県伊那市）、板金加工のコジマ工業（同岡谷市）、デザインビム（同諏訪市）の三社が共同で歩行介助装置『ウォーク・メイト』を開発しています。

◆ 記事が掲載されています

歩行介助装置 共同で製品化着手

諏訪地区の中小3社

【松本】長野県諏訪地区の中小企業3社は共同で高齢者向け医療福祉機器の製品化に取り組む。東京工業大学の三宅美博助教授が開発した歩行介助装置の実用化を目指す。電気回路の設計やデザインなどを各社が得意技術や技能を持ち寄り試作や製品化を進める。

共同開発するのは、岡谷市の創業支援センターに入居する電子装置製造のスマートセンサーテクノロジー（長野県伊那市）、板金加工のコジマ工業（同岡谷市）、デザインビムの3社。いずれもインターネットを活用して製品開発を目指す「諏訪バーチャル工業団地」の会員企業。昨年末

に開催した同工業団地の研究会で、三宅助教授から打診を受けた。歩行介助装置「ウォーク・メイト」はヘッドホンと、腰に携帯する小型パソコン、靴の中敷きタイプの圧力センサーで構成。装着すると、パソコン内で歩く仮想ロボット

の足音がヘッドホンから聞こえ、無意識のうちはその足音に合わせて歩きリズムを維持できる。センサーは高齢者の歩行テンポを感知、仮想ロボットの歩行テンポを調節する。同助教授と三社は三月末までに試作機を完成させる。

第一製薬の子会社である第一化学薬品は犬の血液型を判定できるキットを十七日に発売する。キットに備わっている試薬と犬から採取した血液をカードに垂らし、模様の変化で判定する。器具や分析器を使わず、輪血の価格は五回用で一万五千

新製品「ラビッドベクトーH 犬血液型判定キット」はスイスのDMSアクロラボから日本での独占販売権を得た。希望

犬の血液型を判定

第一化学薬品がキット

▲日経産業新聞 2003年(平成15年)2月5日(水) 掲載